



白石市長
風間 康 静

「雇用の創出」「交流人口の拡大」「子育て支援」
「安心・安全なまちづくり」を推進します

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。
昨年を振り返ると、白石城主・片倉小十郎重長公が戦った大坂夏の陣から400年、白石城復元から20年を記念したイベントに、市内外からたくさんの方々に参加していただきました。また、本市の姉妹都市である登別市と海老名市が姉妹都市を締結し、白石・登別・海老名の自治会が相互連携協定を締結。白石・登別室蘭・海老名の青年会議所（JC）が姉妹JCを締結するなど、トライアングル交流の輪が広がりました。
さらに、宮城県内の市町村の魅力を30秒の映像で紹介する「みやぎふるさとCM大賞」で、最高賞のKHB大賞を受賞するなど、明るい話題が続きました。新年はこれらの追い風を弾みに、さらに復興を加速させなければなりません。

本市においても、市の実情や将来展望を客観的に分析し、本市の地域特性をふまえ、人口・経済・地域社会などの課題解決につなげるための指針として「白石市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」「総合戦略」を昨年10月に策定しました。
総合戦略では、第5次白石市総合計画で掲げている「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を実現するため「雇用の創出」「交流人口の拡大」「子育て支援」「安心・安全なまちづくり」を柱とした4つの基本目標を定めました。
今後、平成31年度までの間、目標実現のための各種施策を市民の皆さまとともに推進し、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図り、人口減少を克服しようとするものです。これからも地域の活力と賑わいを創出できるよう全力を注いでいく決意であります。

本年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が放送されます。これを契機に、真田関連の企画展などを開催し、白石の名が全国に響きわたるよう全力で走り続けてまいります。
結びに、この一年が皆さまにとりまして、輝かしい年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

白石市議会議長
佐久間 儀 郎

「わかりやすく開かれた議会」を目指します

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。
昨年を振り返ると、福島第一原子力発電所事故から端を発する、イノシシの繁殖増加を受け、有害鳥獣解体場が完成しました。また、本市南部での塩化カリウムを散布しない試験圃場（はとぎ）で、セシウムが不検出であったことから、平成28年産米に係る塩化カリウム散布が不要になったことは、大変喜ばしいことと想っています。
しかし、この一連の放射能問題の解決をみるには、補償問題を含め、まだ時間がかかるものと思っておりますので、今後引き続き粘り強く、議員一丸となつて市民生活の安心・安全のために活動してまいりたいと考えています。

本年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が年明けから放映されます。真田信繁（幸村）公ゆかりの地として、本市においても「歴史」をはじめ全国から多くの方々が来白されることを期待しています。
そして、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」が促進されるとともに、人口減少問題に係る「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも議会として積極的にかかわっていかねばと感じています。
市議会も、議会だよりや議会傍聴、インターネットによる議事中継の配信といった市民の皆さまへの広報機能の充実に加えて「議会基本条例」に基づく「市民との意見交換会」を行うなど、市民の皆さまからの意見を伺うことで、議会からの一方向の情報提供だけでなく、双方向の関係構築、「議会」「議員」を身近に感じていただければと考えています。
3月下旬には「市民との意見交換会」を開催する予定です。地域の問題や課題を、膝を交えながらお聞かせいただき、今後の市勢の発展に活かしてまいりたいと思います。
このように「わかりやすく開かれた議会」を目指します。昨年7月の改選で、我々議員の顔ぶれが変わりました。年頭に当たり、なお一層、市民の皆さまの期待に応えられるよう決意を新たにしています。市民の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。
本年も、皆さまにとりまして幸多き年でありますよう議員一同ご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。